



全国学力・学習状況調査結果報告

5月27日（木）に行った全国学力・学習状況調査の主な結果について、お知らせいたします。これは毎年小学校第6学年と中学校第3学年を対象としている悉皆調査です。目的は、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てることです。

教科に関する調査の結果



全国平均との比較

国語・数学ともに、平均正答率が全国平均を上回りました（表1）。また、領域別（表2）、問題形式別（表3）に見ても、概ね全国平均を上回りました。しかし、結果は5月時点における学力状況の一部分にすぎません。一人一人に目を移すと、本調査に取り組んだ生徒それぞれに成果と課題があります。数値に一喜一憂することなく、今後も授業改善を継続し、生徒一人一人の学力や学習意欲の向上に努めていきたいと思えます。

表1【本校と全国の平均正答率比較】

教科	国語	数学
本校	○	◎

【記号について】

本校と全国の平均正答率を比較して、
◎：全国+3.0ポイント以上
○：全国0～+2.9ポイント
△：全国0～-2.9ポイント
▲：全国-3.0ポイント以下

表2【本校と全国の平均正答率比較（領域）】

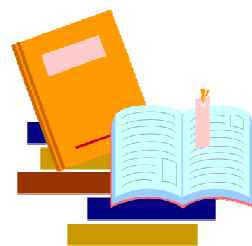
教科	国語				数学			
	聞くこと 話すこと・ 書くこと	読むこと	伝統的な言語文化 と国語の特質に関 する事項	数と式	図形	関数	資料の活用	
本校	○	◎	△	○	◎	◎	◎	○

表3【本校と全国の平均正答率比較（問題形式）】

教科	国語			数学		
問題形式	選択式	短答式	記述式	選択式	短答式	記述式
本校	◎	○	△	◎	◎	○

国語

領域では「読むこと」、問題形式では「記述式」に課題がありますが、概ね正答率が全国を上回りました。その中で全国平均を大きく上回った問題がいくつかありました。登場人物の言動の意味を考へての内容理解を問われた問題、事象や行為などを表す多様な語句についての理解を問われた問題、敬語を適切に使うことを問われた問題等です。修中生は落ち着いて授業に参加することで内容理解を深めたり、公的な場面で改まった言葉遣いをしたりができています。その日頃の様子が本調査にいかされたと言えます。一方、文章に表れて



いるものの方や考え方を捉え、自分の考えを尋ねられた問題は苦手なようです。1人1台端末による個別最適な学びの環境が整いつつありますが、孤立した学びに陥らないよう、授業では協働しながら学ぶ場面を大切にしたいと思ひます。そして、生徒自身が、新しいものの方や考え方を知ったり、自分の考えを広げたりできるように授業改善を図っていきたくひ思ひます。

数学

ほとんどの問題で正答率が全国を上回りました。特に空間図形、比例と反比例、図形の考察に関する問題は顕著でした。また、多くの問題で無回答率が低く、一生懸命問題に取り組んだ様子がかうかがえます。一方、正答率が低かったのが文字を用いた式の四則計算です。授業では、計算の過程を振り返る活動や、項の意味や計算の法則に着目して文字を用いた計算や処理をすることを大切にしたいと思ひます。一方、正答率が低い上に、無回答率の高かった問題がありました。データの傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明する問題です。授業では、問題解決のために表した図、表、式、グラフ等をどのように用いればよいか説明し合う場面を設定し、検討する活動を今以上に充実できるように授業改善を図っていきたくひ思ひます。



生徒質問紙に関する調査の結果

生活

新型コロナウイルスの感染拡大で休業中だった時の生活に関する質問では、「規則正しい生活」、「計画的な学習」が十分にできたとは言ひ難い数値が出ています。自ら生活や学習のペースを作ることの難しさがかうかがえます。今求められている主体的な判断の下に行動し、自立した人間を目指していけるよう、職員も後押ししていきたくひ思ひます。

一方、「学校は楽しい」、「友達と協力」、「進んで人助け」が好結果でした。また「自分にはよいところがある」の肯定的な回答が全国平均を大きく上回りました。今後も生徒に寄り添ひ、生活での様子を価値づけ、自尊感情を更に高めていきたくひ思ひます。

また、「いじめはいけない」という意識は高い数値でしたが、その結果に安心せず、引き続き、温かい人間関係づくりを進めていきたくひ思ひます。



学習

学習習慣では、「授業以外の勉強時間（塾・家庭教師も含む）」は平均的な生徒が多いという特徴があります。勉強時間は長ければよいとは限りませんが、より高い意識を持って学習に取り組む必要があります。また、読書や新聞に触れる習慣が少ないことが分かりました。各家庭との協力を継続し、確実に家庭学習や自主学習に取り組むことができるよう支援していきたくひ思ひます。

学習の様子では、総合的な学習の時間の「情報整理、発表」が全国平均を著しく上回りました。更に「話合ひで自分の考えを深めたり、広げたりできている」、「学習内容を見直し、次の学習につなげる」が好結果でした。これは、本校が各教科等で力を入れてきたことであり、授業において互いの考えを練り合ひ、互いの力を伸ばしていける修中生の素晴らしさが数値に表れたと言えます。

また、「いろいろな方法を考える」、「公式やきまり等のわけを理解するようにしている」の数値が高く、粘り強く学習に取り組む姿勢をこれからも大切にしていきたいと思ひます。



地域

「地域の行事参加」が全国平均を上回りました。本校の生徒は、地域の皆さまの温かい見守りの下で健全に育っており、地域の皆さまのご尽力・ご協力に改めて感謝しております。今後は生徒の意識が“参加”から“参画”へ高まるような取組をしたいと思ひます。